愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	原 京二	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

メディアが発信するニュースから現代社会を読み解く力を養成して、今後のキャリア形成に必要とされる思考力やコミュニケーション力等のスキル学びます。また、思考を深めるための対話により傾聴力を養います。そして、グループワークによる発表や自分の関心に基づく個人発表等を行います。現代は“正解のない社会“です。その正解のない海に乗り出す勇気と意欲をもった学生の参加を求めます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でグループワークを中心に行います。グループワークとして、グループで取り組む課題の設定、プレゼンテーション準備等があります。そのため、ノート型のPC等のツールを持参することが望ましいです。また、グループワークに必要な知識や情報については講義や映像視聴等で習得するものとします。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	前期の演習の振り返りと後期のオリエンテーション	後期の演習の目的とゴールを共有	□
第2回	思考を深める対話	グループで思考を深める対話	□
第3回	思考を深める対話	グループで思考を深める対話	□
第4回	映像で学ぶニュース	映像視聴を通してニュースの意味を学ぶ	□
第5回	映像で学ぶニュース	映像視聴を通してニュースの意味を学ぶ	□
第6回	SNSとニュース	SNSにおけるニュースの課題を学ぶ	□
第7回	ニュースにおける世界のメディア比較	ニュースの信頼性についての国際比較を学ぶ	□
第8回	グスト講師による講演	ニュースにおける最新の課題を理解する	□
第9回	グループワーク	グループ発表のテーマ設定	□
第10回	グループワーク	グループ発表のテーマのプレゼンテーション	□
第11回	グループワーク	リサーチ	□
第12回	グループワーク	リサーチ	□
第13回	グループワーク	リサーチ	□
第14回	グループ発表	グループワークの最終プレゼンテーション	□
第15回	まとめ	授業のまとめを確認する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日頃から新聞やテレビ、インターネットなど様々なメディアを活用して、事前に2時間程度は時事ニュースに触れてください。また、演習のテーマに沿ったレポートを課すこともあるので、演習について各自で2時間程度の復習を行い、身の回りのメディアの情報について常に意識してください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問等があればTeamsでのフィードバックのほか、授業時間内での質問、事前にアポイントをとり、オフィスアワー時に研究室での面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	日々発信されるニュースについて、その現状や今後の課題を理解できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	演習のテーマに沿った問いをグループワークとして立て、その問いに対する答えをリサーチして自らの言葉でプレゼンテーションができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	少人数の演習において、グループでの協働を通して、地域情報、地域ニュースの発信の在り方について主体的に理解し、地域情報の活性化に貢献できる思考を身につける。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

グループワークにおける積極性、貢献性、意見表明、プレゼンテーション等から総合的に判断します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で紹介します。	
2		
3		
4		
5		